

この説明文書は本剤とともに大切に保管し、
服用前に必ずお読みください。

頭痛・歯痛・生理痛
などの痛み

イソピロ錠

第②類医薬品

★イソピロ錠の特徴★

イソピロ錠は、解熱鎮痛成分のアセトアミノフェンに、アリルイソプロピルアセチル尿素を配合して鎮痛作用を高め、さらに、無水カフェインを加えて解熱鎮痛作用を高めるとともに、眠気を防止します。

イソピロ錠は、割線を有する白色の錠剤です。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

- 次の人は服用しないでください。
 - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。(眠気があらわれることがあります。)
- 服用前後は飲酒しないでください。
- 長期連用しないでください。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の診断を受けた人
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(ステーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の1回量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時を避けて水又はぬるま湯で服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。

年齢	成人(15歳以上)	7歳以上15歳未満	5歳以上7歳未満
1回量	2錠	1錠	1/2錠

【用法・用量に関する注意】

- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- 本剤は5歳未満の乳幼児には服用させないでください。
- 錠剤の取り出し方
図のように、錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。
(誤ってそのまま飲み込んだりすると、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



成分(6錠中)

成分	分量	作用
アセトアミノフェン	900mg	痛みを抑え、熱を下げます。
アリルイソプロピルアセチル尿素	180mg	痛みを抑える働きを助けます。
無水カフェイン	150mg	鎮痛作用を高め、眠気を防止します。

添加物：乳糖、セルロース、カルメロースカルシウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルセルロース

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わります。)
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

★発熱時の養生法★

- 食事は栄養価が高く消化がよく温かいものを食べ、水分を多く摂るように心掛けてください。
- 汗をかいたら早く着替えて体を冷やさないようにしてください。
- できるだけ安静にしてください。

★お問い合わせ先★

日本薬品株式会社お客様相談室
〒841-0032 佐賀県鳥栖市大正町 716
電話 0942-82-2029 FAX 0942-82-2036
受付時間 9時から17時まで(土、日、祝日を除く)



製造販売元
日本薬品株式会社
佐賀県鳥栖市大正町 716